

建設が進む白川村の蔵＝白川村
鳩谷

「白川村の蔵」建設着々

渡辺酒造店、来春開業目指す

地元農家の経営安定期待

飛騨市古川町の渡辺酒造店が白川村鳩谷の旧白川小学校跡地に2027年4月開業を予定する酒蔵「白川村の蔵」の建設予定地と酒米の栽培現場の現地見学会が13日に開かれ、参加した地元住民らは酒蔵の完成に期待を膨らませた。

(市原萌子)

予定地と酒米栽培現場見学会



見学会には、地元農家、観光事業者、行政関係者ら約70人が出席。萩町の田では酒米「山田錦」を生産しているサンフラーワの堅田瑞穂取締役が「酒米の心白をいかに良いものにしていくかに取り組んでいる」などと生産状況について説明した。村では20年に0・15畝の水田で山田錦の試験栽培を始め、本年度は2畝で作付けを実施。34年までに10畝への拡大を目指しており、高島一成村産業課長は「主食用米の値段が乱高下する中、酒米を安定的に高水準で買い取ってもらうことが、農家の経営安定、豊かな農村景観を後世に残すことにつながっていくと期待している」と話した。

建設現場の見学では、関係者が工事の進捗状況や降雪量の多さを踏まえた設計であることなどを説明。村のこめづくりをテーマにした講演もあり、参加者は酒蔵計画に理解を深めた。



「白川村の蔵」の建設計画の進捗を説明する関係者(左)＝同村鳩谷



酒米「山田錦」の栽培現場を見学する参加者ら＝同村萩町